



SnapCenter Plug-in for PostgreSQLのインストール

SnapCenter software

NetApp
January 09, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter/protect-postgresql/add-hosts-and-install-plug-in-packages-on-remote-hosts-postgresql.html> on January 09, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

SnapCenter Plug-in for PostgreSQLのインストール	1
ホストを追加してリモートホストにプラグインパッケージをインストールする	1
コマンドレットを使用した複数のリモートホストへのSnapCenter Plug-in Package for Linux / Windowsのインストール	4
コマンドラインインターフェイスを使用してSnapCenter Plug-in for PostgreSQLを Linuxホストにインストールする	5
Plug-in for PostgreSQLのインストールステータスの監視	6

SnapCenter Plug-in for PostgreSQLのインストール

ホストを追加してリモートホストにプラグインパッケージをインストールする

SnapCenterの[ホストを追加]ページを使用してホストを追加し、プラグインパッケージをインストールする必要があります。プラグインはリモートホストに自動的にインストールされます。ホストを追加して、個々のホスト用のプラグインパッケージをインストールできます。

開始する前に

- SnapCenter ServerホストのオペレーティングシステムがWindows 2019で、プラグインホストのオペレーティングシステムがWindows 2022の場合は、次の手順を実行する必要があります。
 - Windows Server 2019（OSビルド17763.5936）以降にアップグレードする
 - Windows Server 2022（OSビルド20348.2402）以降にアップグレードする
- SnapCenter Admin ロールなど、プラグインのインストールとアンインストールの権限のあるロールが割り当てられているユーザが必要です。
- Windowsホストにプラグインをインストールするときに、組み込みでないクレデンシャルを指定する場合や、ユーザがローカルワークグループに属している場合は、ホストのUACを無効にする必要があります。
- メッセージキューサービスが実行されていることを確認する必要があります。
- ホストの管理については、管理に関するドキュメントを参照してください。
- グループ管理サービスアカウント（gMSA）を使用する場合は、管理Privilegesを使用してgMSAを設定する必要があります。

["Windows Server 2016以降でPostgreSQL用にグループ管理サービスアカウントを設定する"](#)

タスクの内容

- SnapCenterサーバをプラグインホストとして別のSnapCenterサーバに追加することはできません。

手順



1. 左側のナビゲーションペインで、* Hosts *（ホスト）をクリックします。
2. 上部で [Managed Hosts] タブが選択されていることを確認します。
3. [追加]*をクリックします。
4. [Hosts]ページで、次の操作を実行します。

フィールド	操作
ホストタイプ	<p>ホストのタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウ • Linux <div>  <p>Plug-in for PostgreSQL はPostgreSQLクライアントホス トにインストールされます。こ のホストは、Windowsシステム とLinuxシステムのどちらにも配 置できます。</p> </div>
ホスト名	<p>通信ホスト名を入力します。ホストの完全修飾ドメ イン名（FQDN）またはIPアドレスを入力しま す。SnapCenterは、DNSが適切に設定されてい るかどうかによって異なります。そのため、FQDNを 入力することを推奨します。</p>
クレデンシャル	<p>作成したクレデンシャルの名前を選択するか、新し いクレデンシャルを作成します。このクレデンシャ ルには、リモートホストに対する管理者権限が必要 です。詳細については、クレデンシャルの作成に関 する情報を参照してください。</p> <p>指定したクレデンシャルの名前にカーソルを合わせ ると、クレデンシャルの詳細を確認できます。</p> <div>  <p>クレデンシャルの認証モードは、ホ スト追加ウィザードで指定するホス トタイプによって決まります。</p> </div>

5. [Select Plug-ins to Install]セクションで、インストールするプラグインを選択します。

REST APIを使用してPlug-in for PostgreSQLをインストールする場合は、バージョンを3.0に渡す必要があ
ります。例：postgresql:3.0

6. （オプション） * その他のオプション * をクリックします。

フィールド	操作
ポート	<p>デフォルトのポート番号をそのまま使用するか、ポート番号を指定します。デフォルトのポート番号は8145です。SnapCenter サーバがカスタムポートにインストールされている場合は、そのポート番号がデフォルトポートとして表示されます。</p> <div>  <p>プラグインを手動でインストールし、カスタムポートを指定した場合は、同じポートを指定する必要があります。そうしないと、処理は失敗します。</p> </div>
インストールパス	<p>Plug-in for PostgreSQLはPostgreSQLクライアントホストにインストールされます。このホストは、WindowsシステムとLinuxシステムのどちらにも配置できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows 用 SnapCenter Plug-ins パッケージのデフォルトパスは C : \Program Files\NetApp\SnapManager です。必要に応じて、パスをカスタマイズできます。 • Linux 用 SnapCenter Plug-ins パッケージのデフォルトパスは /opt/NetApp/SnapCenter です。必要に応じて、パスをカスタマイズできます。
インストール前チェックをスキップ	<p>プラグインを手動でインストール済みで、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、このチェックボックスを選択します。</p>
クラスタ内のすべてのホストを追加	<p>すべてのクラスタノードを追加するには、このチェックボックスをオンにします。</p>
グループ管理サービスアカウント（gMSA）を使用してプラグインサービスを実行	<p>Windowsホストで、グループ管理サービスアカウント（gMSA）を使用してプラグインサービスを実行する場合は、このチェックボックスをオンにします。</p> <div>  <p>gMSA名を domainName\accountName\$ の形式で指定してください。</p> </div> <div>  <p>gMSAは、SnapCenter Plug-in for Windowsサービスのログオンサービスアカウントとしてのみ使用されます。</p> </div>

7. [Submit (送信)] をクリックします。

[Skip prechecks]チェック ボックスを選択していない場合、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証するためにホストが検証されます。ディスク スペース、RAM、PowerShellのバージョン、.NETのバージョン、場所 (Windowsプラグインの場合)、Javaのバージョン (Linuxプラグインの場合) が最小要件に照らして検証されます。最小要件を満たしていない場合は、該当するエラーまたは警告メッセージが表示されます。

エラーがディスクスペースまたはRAMに関連している場合は、C : \Program Files\NetApp\SnapCenter WebAppにあるweb.configファイルを更新してデフォルト値を変更できます。エラーが他のパラメータに関連している場合は、問題を修正する必要があります。



HAセットアップでweb.configファイルを更新する場合は、両方のノードでファイルを更新する必要があります。

8. ホストタイプが Linux の場合は、フィンガープリントを確認し、* Confirm and Submit * をクリックします。

クラスタセットアップでは、クラスタ内の各ノードのフィンガープリントを検証する必要があります。



同じホストを以前に SnapCenter に追加し、フィンガープリントを確認した場合でも、フィンガープリントの検証は必須です。

9. インストールの進行状況を監視します。

- Windowsプラグインの場合、インストールログとアップグレードログは_C : \Windows\SnapCenter <JOBID>にあります。
- Linuxプラグインの場合、インストールログは_/var/opt/snapcenter/logs/SnapCenter Linux_Host_Plugin_Install_Install_Linux.log<JOBID>にあり、アップグレードログは_/var/opt/snapcenter/logs/SnapCenter <JOBID>.log_にあります。

コマンドレットを使用した複数のリモートホストへのSnapCenter Plug-in Package for Linux / Windowsのインストール

PowerShellコマンドレットInstall-SmHostPackageを使用すると、複数のホストにSnapCenter Plug-in Package for Linux / Windowsを同時にインストールできます。

開始する前に

プラグインパッケージをインストールする各ホストに対するローカル管理者権限を持つドメインユーザとしてSnapCenterにログインしておく必要があります。

手順

1. PowerShellを起動します。
2. SnapCenterサーバホストで、Open-SmConnectionコマンドレットを使用してセッションを確立し、クレデンシャルを入力します。
3. Install-SmHostPackageコマンドレットと必要なパラメータを使用して、複数のホストにプラグインをインストールします。

コマンドレットで利用できるパラメータとその説明については、`RUN_Get-Help コマンド NAME` を実行して参照できます。または、を参照することもできます ["SnapCenter ソフトウェアコマンドレットリファレンスガイド"](#)。

プラグインを手動でインストールし、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、`-skipprecheck` オプションを使用できます。

4. リモートインストールのクレデンシャルを入力します。

コマンドラインインターフェイスを使用して **SnapCenter Plug-in for PostgreSQL** を Linux ホストにインストールする

SnapCenter Plug-in for PostgreSQL クラスタは、SnapCenter ユーザインターフェイス (UI) を使用してインストールする必要があります。ご使用の環境で SnapCenter UI からのプラグインのリモートインストールが許可されていない場合は、コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、コンソールモードまたはサイレントモードで Plug-in for PostgreSQL クラスタをインストールできます。

開始する前に

- Plug-in for PostgreSQL クラスタは、PostgreSQL クライアントが配置されている Linux ホストごとにインストールする必要があります。
- SnapCenter Plug-in for PostgreSQL クラスタをインストールする Linux ホストは、依存するソフトウェア、クラスタ、オペレーティングシステムの要件を満たしている必要があります。

その ["Interoperability Matrix Tool \(IMT\)"](#) サポートされている構成に関する最新情報が含まれています。

- SnapCenter Plug-in for PostgreSQL クラスタは、SnapCenter Plug-ins Package for Linux に含まれています。SnapCenter Plug-ins Package for Linux をインストールする前に、SnapCenter を Windows ホストにインストールしておく必要があります。

手順

1. SnapCenter Plug-ins Package for Linux のインストールファイル (`snapcenter_linux_host_plugin.bin`) を `C:\ProgramData\NetApp\SnapCenter\Package Repository` から Plug-in for PostgreSQL をインストールするホストにコピーします。

このパスには、SnapCenter サーバがインストールされているホストからアクセスできます。

2. コマンドプロンプトで、インストールファイルをコピーしたディレクトリに移動します。
3. プラグインをインストールします。

```
path_to_installation_bin_file/snapcenter_linux_host_plugin.bin -i silent  
-DPORT=port_number_for_host -DSERVER_IP=server_name_or_ip_address  
-DSERVER_HTTPS_PORT=port_number_for_server
```

- `-dport` には、SMCore HTTPS 通信ポートを指定します。
- `-DSERVER_IP` は、SnapCenter サーバの IP アドレスを指定します。
- `-DSERVER_HTTPS_PORT` には、SnapCenter サーバの HTTPS ポートを指定します。
- `-duser_install_DIR` - SnapCenter Plug-ins Package for Linux をインストールするディレクトリを指定

します

◦ DINSTALL_LOG_name は、ログファイルの名前を指定します。

```
/tmp/sc-plugin-installer/snapcenter_linux_host_plugin.bin -i silent
-DPORT=8145 -DSERVER_IP=scserver.domain.com -DSERVER_HTTPS_PORT=8146
-DUSER_INSTALL_DIR=/opt
-DINSTALL_LOG_NAME=SnapCenter_Linux_Host_Plugin_Install_2.log
-DCHOSEN_FEATURE_LIST=CUSTOM
```

4. /<installation directory>/NetApp/snapcenter/scc/etc/SC_SMS_Services.properties ファイルを編集し、plugins_enabled=postgresql:3.0 パラメータを追加します。
5. Add-Smhost コマンドレットと必要なパラメータを使用して、SnapCenter サーバにホストを追加します。






コマンドで利用できるパラメータとその説明については、`RUNNING Get Help command_name_` を使用して参照できます。または、を参照することもできます ["SnapCenter ソフトウェアコマンドレットリファレンスガイド"](#)。

Plug-in for PostgreSQL のインストールステータスの監視

SnapCenter プラグインパッケージのインストールの進捗状況は、[Jobs] ページで監視できます。インストールの進捗状況をチェックして、インストールが完了するタイミングや問題が発生していないかどうかを確認できます。

タスクの内容

以下のアイコンがジョブページに表示され、操作の状態を示します。

-  実行中
-  完了済み
-  失敗
-  完了（警告あり）または警告のため開始できませんでした
-  キューに登録済み

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**Monitor** をクリックします。
2. [* Monitor*] ページで、[* Jobs] をクリックします。
3. [ジョブ] ページで、プラグインのインストール処理のみが表示されるようにリストをフィルタリングするには、次の手順を実行します。
 - a. [* フィルタ* (Filter*)] をクリック
 - b. オプション：開始日と終了日を指定します。
 - c. タイプドロップダウンメニューから、* プラグインインストール * を選択します。
 - d. [Status] ドロップダウンメニューから、インストールステータスを選択します。

- e. [適用（Apply）] をクリックします。
- 4. インストールジョブを選択し、 [* 詳細 *] をクリックしてジョブの詳細を表示します。
- 5. [* ジョブの詳細 *] ページで、 [* ログの表示 *] をクリックします。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。